

209号の 主な記事

- 第2回定例会概要、第1回臨時会概要、議長・副議長就任あいさつ..... 1ページ
- 区長提出議案、議員提出議案、請願・陳情の処理状況..... 2ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5ページ
- 議会の構成..... 6ページ

第2回定例会日程

6月10日	議案上程、委員会付託
12日	代表質問、一般質問
13日	一般質問
17日	議案審査
18日	請願・陳情等の審査
24日	委員会報告及び表決

平成25年第2回定例会

補正予算を含む議案16件を可決

「軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書」を関係機関に提出

平成25年第2回定例会は6月10日から6月24日までの15日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、北小岩一丁目東部土地区画整理事業費や予防接種法の改正に伴う定期予防接種化経費などを計上した補正予算を含む14件の議案と報告7件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員から「軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書」を含む2件の議案が提出され、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、9月上旬にできあがりません。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



新川さくら館 (7月オープン)

第1回臨時会の概要

平成25年第1回臨時会が5月24日に開かれました。この議会では、新議長・副議長の選出のほか、任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と辞任による特別委員会委員の選任も行われました。

また、議会選出の監査委員の選任に同意し、新監査委員に須賀精二議員、中道たかし議員が就任しました。(区議会の新しい構成については6面参照)

議長、副議長 就任あいさつ



高木ひでたか議長



うざわ悦子副議長

このたび、平成25年第1回臨時会におきまして、議長、副議長に選出されました。誠に光栄に存じますとともに、その職務の重大さに身の引き締まる思いであります。

本区はこれまで職員や議員定数の削減、民間活力の導入など、行財政改革を積極的に推し進め、健全財政の維持に努めてまいりました。しかし、長引く不況による税収の減少と、福祉や医療・介護にかかる経費が増大を続け、危機的状況に陥る一歩手前の厳しい財政環境におかれています。

このため、23区の中でサービス水準が特に高い事業を見直すとともに、行政のスリム化を一層進め、さらなる行財政改革に取り組んでまいりました。

さらに、子育て支援や高齢者施策の充実、老朽化した公共施設の改築・維持補修、地震や水害・高潮に備える防災対策、犯罪のない安全・安心まちづくりなど、今後取り組むべき課題は広範な分野に及びます。

これらの課題を解決していくためには、区民の代表である議会が積極的に区民の皆様の声を行政に届け、行政と一体となって対応していくことが必要です。一方で区政のチェック機関として、事務事業の経済性や効率性、有効性についても、注視をしてまいります。

江戸川区議会はこれからも、区民の皆様が安心して暮らすことのできる『わが街江戸川』づくりを目指し、全力を尽くしてまいります。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

区長から出された議案

- 予算
 - 平成25年度江戸川区一般会計補正予算(第1号) ※1
 - 北小岩一丁目東部土地区画整理事業費など24億2259万3千円を追加し、総額2180億4467万8千円とする。
 - 平成25年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - 2億9609万5千円を減額し、総額720億3810万円とする。
- 条例(一部改正)
 - 江戸川区個人情報保護条例
 - 国営企業が全廃されたことに伴い、不開示情報の一つに規定されていた「国が経営する企業の情報」についての文言を削除するほか、規定を整備する。
 - 江戸川区水辺のスポーツガーデン条例
 - 公園としての位置が修正されたことに伴い、区民施設の位置についても同様に改める。
 - 江戸川区自転車駐車場条例
 - 北小岩2丁目9番2号に京成小岩駅南二号駐輪場を設置する。
 - 江戸川区立児童遊園設置及び管理に関する条例
 - 土地所有者より返還の申出があったため、平井ひかり児童遊園を廃止する。
- 契約
 - 江戸川区立春江小学校改築工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額19億2990万円で関東・塚本建設共同企業体と契約。
 - 江戸川区立春江小学校改築に伴う電気設備工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額2億6817万円で佐々木・立山建設共同企業体と契約。
 - 江戸川区立春江小学校改築に伴う給排水設備工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額1億8795万円でアイテック・アイエスアイ建設共同企業体と契約。
 - 江戸川区立春江小学校改築に伴う空調設備工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額2億9282万4千円で株式会社アイテックと契約。
 - 江戸川区立松江第五中学校改築工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額21億9450万円でスターツCAM株式会社と契約。
 - 江戸川区立松江第五中学校改築に伴う電気設備工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額2億6922万円でサンコー・ムライ建設共同企業体と契約。
 - 江戸川区立松江第五中学校改築に伴う空調設備工事請負契約
 - 社会的要請型総合評価一般競争入札により、契約金額2億5830万円で三光エンジニアリング株式会社と契約。
 - 上一色中橋架替工事(その4の3)請負契約
 - 制限付き一般競争入札により、契約金額3億6360万4500円で矢田工業株式会社東京支店と契約。
- 報告
 - 専決処分した事件の報告
 - 返済期限が到来している生活一時資金、療養出産資金、母子福祉生活一時資金、国民健康保険出産費資金及び奨学資金の各貸付金について、返済を求める訴え161件を提起した。
 - 専決処分した事件の報告
 - 中小企業緊急特別対策資金貸付金の返済について、1件の和解を行った。
 - 放棄した私債権の報告
 - 中小企業緊急特別対策資金貸付金など73件、総額1億2840万2880円の債権を放棄した。
 - 平成24年度江戸川区一般会計の繰越費の繰越使用
 - 都市計画道路補助第286号線(中央)街路整備ほか5件。
 - 平成24年度江戸川区一般会計の繰越明許費の繰越使用
 - 本庁舎非常用発電設備改修ほか10件。
 - 平成24年度江戸川区一般会計の事故繰越の繰越使用
 - 左近水門耐震補強工事。
 - 議決を得た契約の契約変更
 - 仮称江戸川区地域交流センター新築工事
 - 駐車場の有料化に伴い機器を設置したこと及び広場に桜の木を植樹するための植樹帯を設置したこと等による増額変更。
 - 新川護岸耐震補強工事(その5)
 - 掘削発生土に混入していたコンクリート塊等と土との分別作業を行ったこと等による増額変更。
 - 都市計画道路補助第286号線(中央)街路及び雨水貯留管整備工事(その1)
 - 詳細調査の結果、土壌汚染対策工の施工範囲が当初の予定より狭くなったことによる減額変更。
 - 都市計画道路補助第286号線(中央)街路及び雨水貯留管整備工事(その2)
 - 詳細調査の結果、汚染物質の値が基準値を下回っていたため、土壌汚染対策を中止したことによる減額変更。

※印は賛否の分かれた議案
 ※1 賛成 28(自由民主党、公明党、自民党日本)
 反対 12(民主・みんな・維新、日本共産党、えどがわ区民ひろば、生活者ネットワーク)
 ※印以外の議案は全会一致で可決

議員から出された議案

- ― 意見書は各関係機関に送りました ―
- 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について (全会一致)
 - 東京都後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項の規定に基づき、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙の候補者に高木ひでたか議員を推薦する。
 - 軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書
 - 賛成 34(自由民主党、公明党、日本共産党、自民党日本、えどがわ区民ひろば、生活者ネットワーク)
 - 反対 6(民主・みんな・維新)
 - [内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣 あて]
 - 交通事故やスポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け発症する「軽度外傷性脳損傷」において、労災の障害(補償)年金が支給できるよう労災認定基準を改正することや、教育機関への啓発・周知を図ることなどを国に求める。

皆さんから出された請願・陳情

●新たに受理されたもの	付託委員会名
150号 浅野潤一教育長への引責辞任勧告を求める陳情	文教委員会(参考送付)
151号 TRD工法で江戸川右岸の堤防強化を求める陳情	建設委員会
152号 都市計画道路補助第283号線の拡幅に反対する陳情	建設委員会
153号 東京都市計画緑地事業 第13号江戸川緑地の内「事業決定していない地域」の事業化の中止を求める陳情	建設委員会
154号 法律違反を容認したまま、監督指導及び改善をしない江戸川区が認可権者の西篠崎区画整理組合事業についての陳情	建設委員会
155号 情報公開条例や江戸川区文書管理規則を守らず開示請求に応じない江戸川区に対する陳情	総務委員会
156号 中央育成室に関する陳情	福祉健康委員会
157号 北小岩18班地区スーパー堤防と一体の区画整理事業を進める前に当地区の地盤調査を住民に示すことを求める陳情	建設委員会
158号 北小岩18班地区スーパー堤防と一体の区画整理事業を進めるに当たって、土手からの勾配を当該地区で示すことを求める陳情	建設委員会
159号 江戸川区のスポーツ施設を利用する子どもの安全対策強化に関する陳情	文教委員会
●委員会の付託先が変更となったもの	付託委員会名
113号 委員会の民主的運営を要望する陳情	議会運営委員会
139号 江戸川区長に対して情報公開に関する陳情	総務委員会

請願・陳情とは?

請願・陳情とは、皆さんの意見や要望を行政に反映させるため、議会に対して文書で施策の実現などを要望する制度です。議員の紹介のあるものを「請願」、紹介のないものを「陳情」と呼んでいますが、区議会での取り扱いは同じです。採択された請願・陳情は、区長などの執行機関に送付し、その趣旨は十分に尊重されることとなります。また、国や都が措置するような内容のものは、意見書や要望書として各関係機関に提出します。

※ 請願・陳情書の作成には留意事項がありますので、提出される際にはあらかじめお問い合わせください。

平成25年第3回定例会開催予定

- 9月24日(火)…………… 本会議(議案上程、委員会付託)
- 26日(木)…………… 本会議(一般質問)
- 27日(金)…………… 本会議(一般質問)
- 9月30日
- 10月1・3・4・7・8・10・15日] 決算特別委員会
- 17日(木)…………… 常任委員会(議案審査)
- 18日(金)…………… 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 25日(金)…………… 本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
 ※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区政への質問

6月12日に代表質問及び一般質問、13日に一般質問が行われ、活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問



ゆるぎなき健全財政・災害対策に終わりなし

自由民主党
早川 和江

国民健康保険料や保育料には多くの税が投入され、安くて良質なサービスが提供されているが、平成26年度予算編成に向け、受益と負担のバランスが適切かどうか検証する必要がある。区民館等の施設使用料などを含めた、歳入確保と適正な受益者負担についての考えは、

代表質問について

①国との基本協定締結により、北小岩一丁目東部地区におけるスーパー堤防と一体のまちづくりが共同事業開始となった。生命・財産を守るため、進めなければいけない事業と考えている。今後の進め方や展望についての考えは、

②7月から換地設計の提示や買収補償交渉に入ることとなっており、国との共同作業として順次進めていく。できるだけ早期に実現を図っていききたい。

③東日本大震災の反省を踏まえ、都は「帰宅困難者対策条例」を施行した。この中で帰宅困難者対策の要点として、一斉帰宅の抑制や一時滞在施設の確保、帰宅支援等が指摘されており、行政が解決すべき課題が多く示されている。本区の帰宅困難者対策への考えは、

④都の条例では宿泊所や食料等の確保が一つのテーマであり、条例に基づきながら地域にあった対策をしっかりと組み立てたい。事業者には団体を通じて条例の普及啓発をしている。万全の態勢を取るべく、一般家庭向けも含めきめ細やかに取り組んでいきたい。

⑤都の液状化予測図の見直し結果によると、区内の大部分で液状化が発生し、何らかの被害が予測されている。防災対策の一環として、液状化対策にどう取り組んでいくのか、

⑥液状化への対応を専門的に応じる相談体制をつくっている。さらに専門的な部分は都のアドバイザーへ誘導していく。既に家が建っている土地への対応は難しいので、建て替え時に対策を十分周知していききたい。

⑦船堀駅北部の都営住宅の建て替えにより、活用できる土地が創出される。この土地への区役所本庁舎の移転やその跡地利用、また、用地活用の際の民間活力の導入等による整備についての考えは、

⑧昨年発足した「公共施設のあり方懇話会」において、本庁舎移転の候補地として考えられている。跡地利用や庁舎の形態等についても懇話会で議論していただきたい。資金面でも民間活力の活用などの新しい手法を用いて、急激な負担とならないよう配慮する必要がある。

⑨介護保険制度・認知症対策について

①国の審議会等で行われている介護保険制度改正に向けた議論への見解は、

②高齢化の進展に伴い急増する認知症高齢者数をどのように推計し、早期発見・診断へ取り組むのか。また、家族介護者の負担軽減のため、社会資源を活用した支援策と地域包括ケア体制の現況は、

地域の力・区の活力!!



⑩①負担とサービスの関係や今後の高齢社会を前提としたまとめが出てくる。国の動向を見定めつつ、精力的に取り組んでいきたい。

②区内に約1万4千人の認知症高齢者がいる。家族介護者をサポートする体制づくりにおいて本区は非常に恵まれており、そのような資源をさらに増やさなければならない。また、在宅介護の負担軽減にむけ、基盤となる介護・医療・福祉関係の方々との結束やきめ細やかな方策もさらに進めていく。



災害対策・就労支援・体力向上について問う

公明党
竹内 すすむ

⑪インフラ整備のための防災・安全交付金が多く盛り込まれた国の予算の成立や、国土交通省とのスーパー堤防整備に関する基本協定の締結を受け、今後のスーパー堤防整備に向けての方針と決意は、

⑫協定締結が江戸川沿線地区でのスーパー堤防促進につながる。第二弾は篠崎公園地区を考えている。全区間で完成しなければ効果が発揮できない。条件が整った箇所から、国とも協力関係を結びながら精力的に取り組んでいく。

災害対策について

⑬見直された地域防災計画を区民にどうわかりやすく周知し、防災意識の啓発を行うのか、

⑭受援体制確保の観点から、職員派遣で縁のある気仙沼市等との災害協定の考えは、

⑮大地震後の迅速な初期消火に、水利を活用するなど地域の特性を生かした取り組みを、

⑯液状化対策として、都と連携した相談体制の充実が重要である。今後の取り組みは、

⑰①地域防災計画は多くの分野の広範な課題を述べているので、すべての周知は難しい。訓練の積み重ねなど、地道に地域と協力しながら普及啓発をしていきたい。

⑱防災協定をいくつか個別に結ぶだけでなく、全自治体で連携できるシステムをつくる必要がある。また、近隣自治体との協力が重要であり、連携に向けての協議を進めていく。

⑲水利を活用した実践的な仕組みを考えており、効果的にできるよう取り組んでいきたい。

⑳都と連携して相談体制を充実させ、納得できるような方策を提供していききたい。

㉑マイナンバー制度の運用開始と本区の情報システムを活用し、本区にあった窓口サービス

を検討すべきである。ワンストップ総合窓口に向けての考えは、

㉒職員配置等のシステムの構築が難しい。庁舎移転時も含めたさまざまな観点から考え、早期の条件整備に向け探求したい。

就労支援について

㉓①障害者優先調達推進法の施行に伴う、障害者就労施設等からの物品調達方針と今後の計画は、

㉔②深刻化する若者の就職問題について、どのように就労支援に取り組んでいくのか、

若者の就労支援



㉕①対象施設を把握しているので、調達を計画的に考え、内容の公表をしていきたい。障害者が意欲的な活動ができるよう努力したい。

㉖②区長会で情報交換やシンポジウム等を行っている。若者への啓発や雇用を受け入れる理解者をつくるため、総合的な努力をしていく。

㉗横綱「柝錦」の出身地であることや全国有数の規模で開催されるわんぱく相撲大会など、区内にある相撲の財産を活用したまちおこしを、

㉘相撲との縁も深く、資源を生かしたよいまちおこしの実現に向けて頑張っていきたい。

総合的な生きる力について

㉙①教育の本当の価値は、人としての総合的な生きる力をどう身に着けるかである。生きる力の育成にどう取り組んでいくのか、

㉚②総合的な生きる力を身に着ける土台として、体力向上が重要である。体力テストの結果をどう分析し、体力向上に取り組んでいくのか、

㉛③①子ども達がさまざまな体験ができる機会を増やし、自ら考えて行動する体験を繰り返すことで、生きる力を育てていく。

㉜②全国調査で一番低い都の平均よりも本区は低く、深刻に受け止めている。休み時間に体を動かして遊ぶ取り組みを増やしていきたい。

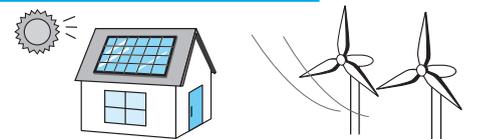


再生可能エネルギー・少子高齢化社会の対応

民主・みんな・維新
中里 省三

㉝再生可能エネルギー研究・発掘の考えは。また、区施設でのエネルギーの効率的な活用は、

再生可能エネルギー活用



㉞大きく取り組める条件はないが、可能性があれば取り組みたい。区施設では雨水再利用や太陽光発電、LED照明等を取り入れている。

㉟高台や河川へ避難するための付帯設備として、多機能避難階段手すりの設置を、

㊱国が河川敷階段の手すり未設置箇所の改善を積極的に行う意向なので、要請を続けていく。

人口減少と少子高齢化の問題について

㊲①人口減少と少子高齢化へのとらえ方は。また、急速な高齢化社会到来による税収減に伴うインフラ整備についての考えは、

㊳②必要性が増す特別養護老人ホーム(特養)や介護老人保健施設の拡充についての展望は、

③ ①国の推計によると30年後の区の人口は微減だが高齢化は大きく進み、税収や労働力の確保など、さまざまな課題が出てくる。将来の状況を想定した区政のあり方や戦略をさらに力を入れて研究していきたい。

②負担とサービスの関係や財政問題などさまざまな課題がある。在宅から特養に至る中間の社会基盤の形成が今後の課題になる。

問 ディズニーランドとスカイツリーの間という立地条件を活用した観光立区への考えは。

答 住みやすく楽しい地域づくりを軸に、ある資源を活用し、対外的だけでなく住民にも心地よく魅力のある観光のあり方を探求していきたい。

問 横浜市が待機児童ゼロを達成したが、本区における待機児童解消策は。また、「保育コンシェルジュ」の配置計画は。

答 横浜市とは条件が違うので、本区の解消策を続けていく。「保育コンシェルジュ」の内容は全て実施しており、新設する考えはない。



憲法九条守り、住民合意の無いスーパー堤防撤回を

日本共産党 小俣 のり子

問 憲法改定と歴史問題について

①憲法改正の発議要件を規定した憲法96条の改定と憲法9条についての見解は。

②安倍首相による「村山談話」の見直しと橋下大阪市長の慰安婦発言についての見解は。

答 ①簡単に結論が出ない難しい問題であり、深く勉強する必要がある。平和のために何を考え、何を実践するかを突き詰めていく必要がある。②「村山談話」は公式な政府見解と認識している。橋下市長の発言は、多くの方の認識通り立派な発言とは言えない。

問 高齢者施策について

①廃止となった長寿祝品等の配布時に行っていた高齢者の実態把握の今後の取り組みは。

②特別養護老人ホーム待機者が多く存在している。さらなる特養ホーム増設計画の考えは。

特養ホームの増設



答 ①詳細は詰めていないが、民生委員を中心として秋頃に調査を実施していきたい。

②今後必要性が増すのは明らかである。整備には区の財源だけでなく一般住民への負担も伴う。状況に合わせたバランスを考えながら、検討会で深く議論してもらいたい。

問 北小岩一丁目東部地区スーパー堤防事業と一体のまちづくりについて

①国土交通省の「事業評価監視委員会」の資料において、地区内に消防車が入れなかったとあるが、事実と異なる。また、90%以上の住民が賛成とあるが、何を基準としたかわからない。資料について説明を。

②住民合意が整っていない中、今後事業をどう進めるのか。また、直接施行を行う考えは。

③当該地区へのスーパー堤防の必要性に疑問が残る。どのような避難場所としていくのか。

答 ①小型消防車が1台と、中型車が入口に1台入れただけであり、常識的に消防車が入れ

ない地域と言える。家屋調査に応じた数を出しているが、賛成・反対の数を出したことはない。決して作弄的な資料を提供したわけではない。

②公共事業には常に反対はある。直接施行は避け、納得をいただくよう努力をしていく。

③一つの取り掛かりとして事業を進めており、当該地区だけでの効果を計るものではない。

一般質問



空家対策に固定資産税減額をバス路線空白域の解消を図れ

自由民主党 渡部 正明

問 東京都アクションプログラム2013について

①安全なまちづくりに向けた不燃化特区に南小岩七・八丁目地区が決定され、計画が進んでいる。不燃化特区における支援制度の内容は。また、新たに申請を予定している地区は。

②無人化した老朽家屋は、倒壊や防犯・衛生的な住環境の悪化を誘発する。本区には条例や具体的な対策はなく、住民の立場で考えた役所全体での対応が必要である。昨秋実施した老朽家屋調査の細目と結果分析、活用方法は。③不燃化特区以外にも老朽家屋の解体や更地化に税制猶予を適用し、安全なまちづくりが進められるよう都に要請を。

答 ①老朽建築物に対して、3つの支援策を行っている。国基準での建物除去費の全額補助、耐火建物の設計費の約45%の補助、固定資産税は除去後の更地は1/6の減免と建て替えた耐火建物への全額免除を5年間行う。今後は平井二丁目と松島三丁目地区を申請し、今年度末に認定を受けられる予定である。

②防災や環境上の対処、商店街活性化や介護等への活用の観点から全庁的に調査を行った。分類により各部署が対応をするが、当面は管理不良で危険な46件の対処をしていく。

③当面は不燃化特区の条件緩和を都に要請し、多くの地域で取り組めるようにしていきたい。

問 地方分権一括法により区に譲渡された赤道(里道・あぜ道)・青道(小川・水路)等の法定外公共物の多くが未処分である。土地評価額の55%での払い下げを原則としているが、柔軟な対応で買取を促し、固定資産税等を課税した方が有効である。土地形態や経緯により段階的な評価区分を設け、円滑な払い下げを。

答 利益の折半という考えの下、売却している。かなり安く売却している区もあり、既に売却した人との関係等も含めて、研究していく。

問 公共交通について

①バス事業者に対するバス路線の空白域解消の要請や他の自治体で実施しているタウンバスの研究など、バス路線の空白域への対策は。

②メトロセブン促進協議会について、平成27年の次期交通政策審議会の答申へ向けて、関連区とどのような共通認識を持って連携を強めるのか。また、ホームページの開設などにより現況や指針を住民に周知を。

答 ①タウンバスの導入はしない。採算の悪い路線も補いながら運営するという公共交通機関の使命の全うを事業者にも迫っていく。都市計画道路の完成により路線は変化するので、道路整備と併せて抜本的な見直し作業を進めて

いきたい。

②客観的な情勢として難しい面もあるが、次回の答申に向けて事業を温めながら機会を見極め進めていく。関係区とも同じ思いである。現状の周知やPRをしていく。

問 防犯カメラの設置について

①防犯カメラの設置による犯罪件数の増減の比較等の集計、効果分析、警察からの情報提供依頼の数は。また、映像管理上の問題はなかったのか。

②都の補助金制度導入により、多くの地区に設置されているが、区内の活用状況は。

③初期導入経費以外に電気代や保守にも経費がかかる。更新時に一部助成の検討を。

答 ①効果の測定は難しいが、犯罪件数は10年間減少傾向にある。警察から約240件の情報提供依頼があり、6件が検挙に結びついた。各設置団体が運用基準を基に記録を管理しており、問題なく厳格に運用している。

②区内8地域団体の管理下で152台が作動している。駅では12駅中9駅で稼働している。

③更新経費は今年度から都の補助対象となった。申請があれば積極的に検討する。



子ども達の確かな学力と豊かな人間性を育む教育を!!



公明党 関根 まみ子

問 子ども達の確かな学力向上について

①学力調査等の結果を踏まえた、本区の教科指導上の課題分析と対策は。

②読書習慣のより一層の定着に向けた決意は。

③学力の底上げのため、反復学習や補習などの継続的な取り組みを。

④学習意欲向上のための取り組みは。

答 ①応用力が不足している。教育委員会が課題を整理し、学校ごとに学力推進プランを決めている。具体的には研究会を含めた全体で考えていく。

②子どもが自主的に本を選ぶ環境に変わってきた。地域ぐるみの読書習慣を一層広げていきたい。

③補習や家庭学習の時間の確保が重要となる。学力格差が是正されるよう努力していきたい。

④子どもの学習意欲につながる評価を行い、教員が学習の面白さを伝える努力を続けて欲しい。

問 地域に貢献する子ども達の育成について

①豊かな人間性を培うため、子ども達にさまざまなボランティア活動の推進を。

②防災の担い手として中学生を生かすため、AEDの講習会などの実施を。

答 ①地域の取り組みへの参加を増やすことで、子ども達の自信につながる機会を増やしていきたい。

②学校に設置しているので、誰もが使える環境にしていきたい。

問 発達障がいの子どもの支援について

①さらなる支援の充実のため、切れ目のない施策が必要である。今年度の支援の方向性は。

②総合相談の要となる仮称「発達障害支援センター」についての考えは。

③情報共有等の就学前と就学後の連携状況は。

☑ ①昨年公表した支援方針を基本に、早期発見、早期支援、継続支援、普及啓発、支援体制整備の5つを主として取り組んでいく。

②現在は発達段階に応じて各所管で相談に対応している。具体的な形の検討を進めている。

③活用しやすく継続性が保てるような取り組みを専門家等の意見を聞き、研究している。

☑ 特別支援学級について、今後の空白地域への整備計画は。

☑ 需要等の全体的なバランスや条件を見通しつつ、必要に応じた整備をしていく。

☑ すくすくスクールについて

①学童クラブ登録の今後の方向性は。

②緊急時における対応についての考えは。

☑ ①一般登録と学童登録の違いによらず、社会で生きる力をつけるという機能を維持していく。

②学校現場として、地域や子ども等を含んだ全体でさまざまな想定をし、訓練を重ねていく。

☑ がん検診受診率向上に向けて

①個別勧奨の充実と受診環境整備を。

②学校でのがん教育の充実を。

☑ ①現在行っている再勧奨事業の検証結果を踏まえ、さらに有効な策を考えたい。

②昨年度にがん予防の出前授業を行った。機会をとらえて推進を働きかけたい。

☑ 一之江駅のバリアフリー化の推進について

①西口広場のエレベーターの設置について、現況と今後の予定は。

②安全確保のため、ホームドア設置の要請を。

☑ ①今年度から設計に着手し、27年度末に工事が終了する予定である。

②設置に多大な費用がかかるが、早期実現に向けて、引き続き要請していきたい。



江戸川区の本庁舎について 移転を含めた将来像を

民主・みんな・維新

ます 秀行

☑ 来年度以降の継続的な事業見直しについて

①事業の見直しの効果を最大限に引き出すため、複数年にわたる中長期的な見直し指針の策定を。

②長期的な観点から、自己負担の導入と受益者負担制度、委託化についての考えは。

☑ ①住民向け施策は状況にあった柔軟な対応が必要であり、長期的な指針策定は難しい。内部事務の見直しは検討をさらに続けていく。

②受益者負担は利用者への影響を考え、慎重に取り組む必要がある。委託化は相当進めており、今後もいろいろ着眼して進めていく。

☑ 本庁舎が老朽化している。移転を含め、庁舎の将来をどう考えるか。また、非公開の「公共施設のあり方懇話会」の位置づけは。

☑ 懇話会で忌憚のない意見を伺っている。区の意味を決定する会議体ではなく、参加者の合意で非公開となった。本格化したら公式な検討の場を設け決定していく。庁舎のあり方や民間活力の導入等も含め研究を進めていきたい。

☑ 安全安心まちづくりをより強固にするため、地元警察と協力体制の構築を。

☑ 以前から積極的な協力関係にあり、連携確認のため、区内三警察署と覚書を交わした。

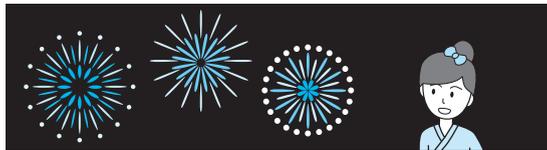
☑ 資源ごみの持ち去り対策において、集団回収と併存でき、多額の経費がかからない集

積所のごみの所有権の主張についての見解は。

☑ 他区でさまざまに取り組んでいるが、根絶はなかなか難しい。集団回収の推進が決め手と考えているが、所有権主張も検討したい。

☑ 練馬区では禁煙補助剤の助成をしている。本区でも禁煙補助剤の取り組みについて研究を。

☑ 健康増進の面から啓発は行っているが、究極には個人の問題なので、薬の助成は難しい。



認可保育所増設、認証保育料助成、予防接種無料化を

日本共産党

大橋 みえ子

☑ 本区の保育園待機児解消について

①本区の待機児の数え方と3月末で認可保育園に申し込んでも入れなかった人数は。

②認可保育所の増設により安心・安全な保育が保証される。規制緩和や株式会社ではなく、区立や社会福祉法人による認可保育所増設を。

☑ ①本区は求職中や育児休業等も含んだ数で192名である。3月末で認可保育所に入れなかった数は839名である。

②認可基準を満たし、保育の質や安定性が確保できれば民間活力の活用はありうる。待機児が0～2歳に限られており、受け皿として認証保育所に期待しているので、認可保育所をつくる考えはない。

☑ 認証保育所保育料助成について

①認可保育所不足から、認証保育所が待機児解消の受け皿となっていることについての考えは。

②認可保育所より高額な認証保育所保育料の格差是正のため、23区で唯一実施していない保育料補助を第2子減額等も含めて実施を。

☑ ①認証保育所は、多様化する保育ニーズに応えた特色ある保育の実践と共に、待機児童解消の一助になっていると考えている。

②設置者・運営事業者に補助金を出すことで、間接的に保護者の負担軽減を図ってきた。保護者への直接補助は、家庭内保育者とのバランスや財政面への影響から実施する考えはない。

☑ 子どもの予防接種の無料化について

①財源保障がない定期接種ワクチンについて、国に財源保障の要請を。

②有料となっている任意接種ワクチンにおいて、区独自で子どもの接種無料化等の考えは。

☑ ①国は予防接種の法定化を進めているが、財源保障がなく、自治体の負担が大きい。区長会で国の負担を求める緊急要望をしている。

②法定化された場合は考えるが、現状で区独自で任意接種ワクチンの無料化は考えていない。



次世代へ引継ぐための 心を問う

自民党日本

須賀 清次

☑ 次世代を築く子ども達へ、区長の心と絆、慮る心を。また、14年にわたり区政を担ってきた思いを。

☑ 非常に多くの方の深い協力によって、職務をなしえてきた。区の将来に役立てられるよう誠心誠意、努力していきたい。

☑ 葛西土地区画整理事務所跡地について、区画整理から頂いた心をどう活用し、葛西の過去・現在・未来が語り継がれる公園とするのか。

☑ 地域の方々の熱い情熱や次世代への思いが詰まった成果物であり、区画整理の苦勞が後世に心の文化として残るよう工夫をしたい。



子宮頸がんワクチン・学童補食・公共事業について

生活者ネットワーク

新村 井玖子

☑ 重篤な副反応が問題の子宮頸がんワクチンの接種勧奨について、自治体として十分な配慮を。

☑ 実態把握の体制は整っている。情報提供は接種票やホームページで行っている。

☑ 学童登録児童の補食廃止について、保護者の意見をどう取り入れたのか。また、廃止後の影響は。

☑ 意見は正式に集約せず、現場での課題について相談してきた。影響は聞き取り中であるが、特段の影響があったとは聞いていない。

☑ 既存の社会資本の維持管理費を勘案し、新規事業は必要性について住民参加での吟味を。

☑ 将来の財政に影響を及ぼすことなので、現況を把握し、公表していくことが必要である。



保護者による自主運営の補食提供に理解を

民主・みんな・維新

田中 けん

☑ 学童クラブ登録児への補食廃止について

①麦茶の提供をやめた理由は。

②保護者による補食の自主運営において、学校の使用可能な部屋を使わせない理由は。

③補食を廃止した根拠や経緯は。

④最初にすくすくスクール事業を行った鎌田小における補食の変遷についての見解は。

⑤家でおやつを食べさせるため、一人で留守番をさせている家庭もある。防犯・防災面で学童クラブの考えは。

⑥すくすくスクールの現状についての考えは。

☑ ①補食に伴う提供であり、廃止した。

②管理運営上、他の子と隔離することをやめたので、自主運営であれば場所は提供できない。

③過去の経緯から実施してきたが、数が減り、提供時間も遅くなっているので形を転換した。

④最初のモデル校であり、少し変則的な運営をした。全校実施の段階で今の形に改めた。

⑤通学の安全性の問題で考えるべきである。

⑥課題はあるが安定しており大きな問題はない。

☑ 小学校卒業式における別れの言葉について、家庭環境の違いに配慮できなかったのか。

☑ 現場で判断し、必要であれば配慮をする。

☑ インターネット教育の現状と後は。

☑ ネットいじめ等の事例をふまえ、セーフティ教室等でネットの危険性を指導している。



区議会の構成(7月20日現在)

議長 高木 ひでたか 副議長 うざわ 悦子

(◎委員長 ○副委員長)

委員会名	委員名			
常任委員会	総務委員会 (9名)	◎福本みつひろ ○関根まみ子 竹平ちはる	田中 けん 中里 省三 ふじさわ進一	セバタ 勇 川瀬やすのり 島村 和成
	生活振興 環境委員会 (9名)	◎竹内すすむ ○田中 寿一 中津川まさあき	ます 秀行 佐々木ゆういち 斉藤まさたか	須賀 清次 間宮 由美 渡部 正明
	福祉健康 委員会 (8名)	◎窪田 龍一 ○大西 洋平 滝沢やすこ	ふかえ一之 太田きみひろ 伊藤てる子	高木ひでたか 八武崎一郎
	文教委員会 (8名)	◎田島すすむ ○所たかひろ 大橋みえ子	えぞえ亮一 新村井玖子 早川 和江	田中じゅん子 須賀 精二
	建設委員会 (8名)	◎片山ともり ○堀江そういち 金井 茂	田島てつたろう 小俣のり子 中道たかし	うざわ悦子 川口としお
議会運営委員会 (15名)	◎ふじさわ進一 ○川瀬やすのり 大西 洋平 ふかえ一之 太田きみひろ	堀江そういち 斉藤まさたか 田中 寿一 小俣のり子 中里 省三	伊藤てる子 セバタ 勇 竹内すすむ 田島すすむ 渡部 正明	
特別委員会	行財政改革 特別委員会 (12名)	◎田中じゅん子 ○セバタ 勇 中津川まさあき ます 秀行	所たかひろ 大橋みえ子 太田きみひろ 斉藤まさたか	中道たかし 福本みつひろ 川口としお 渡部 正明
	災害対策・ 街づくり推進 特別委員会 (12名)	◎伊藤てる子 ○田島てつたろう 佐々木ゆういち 大西 洋平	えぞえ亮一 新村井玖子 田中 けん 早川 和江	間宮 由美 竹内すすむ 須賀 精二 片山ともり
	熟年者支援 特別委員会 (12名)	◎ふかえ一之 ○斉藤まさたか ます 秀行 佐々木ゆういち	竹平ちはる 所たかひろ 大橋みえ子 堀江そういち	田中 寿一 須賀 清次 ふじさわ進一 田島すすむ
	子育て・ 教育力向上 特別委員会 (12名)	◎八武崎一郎 ○中里 省三 金井 茂 滝沢やすこ	大西 洋平 太田きみひろ 窪田 龍一 関根まみ子	田島てつたろう 小俣のり子 川瀬やすのり 島村 和成
議会選出監査委員	須賀 精二	中道たかし		

週刊誌報道への対応について

週刊誌に掲載された不祥事について、中津川まさあき議員は6月13日午後の本会議で謝罪を行いました。

これを受けて、議長は6月24日の本会議で以下のような声明文を発表しました。

『このたび、江戸川区議会議員 中津川まさあき君が傷害容疑で略式起訴を受け、罰金刑を科されていたことは、大変遺憾であり、区民の皆様にご迷惑をおかけしたことを、議会を代表して心から深くお詫び申し上げます。

中津川まさあき君には、今回の事態を深刻に受け止め、猛省を促します。また、区民の皆様への誠意ある謝罪を受けた地位にあることを深く自覚し、二度とこのような不名誉な事態を招くことのないよう行動するとともに、今後の信頼回復に誠心誠意取り組まれるよう、強く求めます。』

会派別議員一覧(7月20日現在)

区議会自由民主党 直通5662-5111

<http://www.edogawa-jimin.jp/>

幹事長	ふじさわ進一	3658-0783	南小岩6-28-11
幹事長代行	渡部 正明	3653-9346	松島4-20-13
副幹事長	田中 寿一	5679-0413	船堀3-1-3
幹事	田島 すすむ	3670-7716	鹿骨4-21-2
幹事	斉藤まさたか	3672-5849	北小岩8-24-6
幹事	大西 洋平	5664-2024	篠崎町2-1-10-305
	田島てつたろう	3670-2426	春江町2-41-12
	福本みつひろ	3877-0541	東葛西8-7-33
	高木ひでたか	5661-4608	一之江3-18-3
	早川 和江	5678-0777	松本1-10-6
	須賀 精二	3679-4445	江戸川2-8-1
	川口 としお	3675-5994	南葛西6-13-14
	島村 和成	3617-3471	平井5-51-12
	八武崎 一郎	3678-8213	新堀1-12-7-101
	片山ともり	3650-0687	東小岩6-25-14

江戸川区議会公明党 直通5662-5112

<http://www.e-komei.com/>

幹事長	川瀬やすのり	5636-5530	江戸川1-21-23
副幹事長	竹内 すすむ	3652-6798	松江3-14-19
副幹事長	伊藤 てる子	6903-7742	中葛西5-2-7-309
副幹事長	堀江そういち	3658-8597	西小岩2-17-1-603
副幹事長	太田きみひろ	6657-2641	平井6-32-2
	佐々木ゆういち	5605-9262	北葛西5-4-15
	竹平 ちはる	5876-7376	東小岩1-14-6
	所 たかひろ	3670-0334	新堀1-13-7
	窪田 龍一	3686-1939	中葛西2-26-10-1005
	関根 まみ子	3653-7553	春江町4-18-10-102
	中道 たかし	5607-0835	大杉1-1-1-703
	うざわ 悦子	3686-7461	東葛西6-4-14-501
	田中じゅん子	3677-4973	上篠崎3-10-11

民主・みんな・維新 直通5662-5116

幹事長	中里 省三	3652-8725	東小松川2-11-20
副幹事長	ふかえ 一之	3655-3337	本一色1-28-7
幹事	田中 けん	3248-0888	中央4-25-14
幹事	えぞえ 亮一	3677-6622	南篠崎町5-12-2-803
幹事	金井 茂	5668-2636	北小岩6-16-1-2F
幹事	ます 秀行	6662-7890	南葛西7-5-16-B305
	中津川まさあき	3678-1660	南篠崎町1-22-2

日本共産党江戸川区議員団 直通5662-5113

<http://jcpedogawa.jp/>

幹事長	セバタ 勇	3636-3265	平井2-25-15-504
副幹事長	小俣 のり子	3655-4422	中央2-22-4
	大橋 みえ子	5674-3753	中葛西8-6-2
	間宮 由美	5661-5051	松江7-11-7

祖国日本(※) 直通5662-1993

幹事長	須賀 清次	3688-7001	東葛西4-27-13
-----	-------	-----------	------------

えどがわ区民ひろば 直通5662-1207

幹事長	滝沢 やすこ	5609-8111	平井2-24-3-103
-----	--------	-----------	--------------

生活者ネットワーク 直通5662-2752

幹事長	新村 井玖子	3877-6294	清新町1-1-4-204
-----	--------	-----------	--------------

※6月27日付で「自民党日本」から名称を変更しました。

区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)

◎ ふじさわ 進一 中里 省三
○ 川瀬 やすのり セバタ 勇